



## 2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日

上場会社名 ロジガード株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4391 URL <https://www.logizard.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)金澤 茂則  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)三浦 英彦 (TEL)03(5643)6228  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	384	△3.5	59	△31.4	59	△26.8	37	△33.2
2019年6月期第1四半期	398	—	86	—	81	—	55	—

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 36百万円 (△33.9%) 2019年6月期第1四半期 55百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	11.53	11.00
2019年6月期第1四半期	17.81	16.87

(注) 1. 2019年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率は、2018年6月期第1四半期において四半期連結財務諸表を作成していないため記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	1,279	1,095	85.6
2019年6月期	1,280	1,042	81.4

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 1,095百万円 2019年6月期 1,042百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,553	6.8	218	△8.3	218	△6.7	152	△4.4	47.75

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年6月期1Q	3,254,000株	2019年6月期	3,186,000株
2020年6月期1Q	34株	2019年6月期	34株
2020年6月期1Q	3,234,662株	2019年6月期1Q	3,136,706株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速に伴い、輸出入や企業の設備統制がやや低調に推移いたしました。貿易摩擦や不安定な国際情勢の影響による海外景気減速懸念が継続しており、先行きは不透明な状態が続いております。

当社サービスの主たる顧客にあたる流通業界においても、主要な通販アイテムのサブスクリプション型提供への移行、オンラインとオフラインの融合など、IT技術の進化を背景に販売手法が日々変化しており、その販売を実現するリアルタイムな在庫管理ニーズも高まりを見せております。

このような状況の中で、当第1四半期連結累計期間は、AGV連携、EC代金のコンビニエンスストア支払いシステムとの連携など自動化省力化関連対応、並びに消費税軽減税率対応などをロジガードZEROへ機能追加致しました。

この結果、製品開発に特化し開発・導入サービスが減少したことにより、当第1四半期連結会計期間の売上高は384,689千円（前年同期比3.5%減少）となりました。利益につきましては、人件費の増加により営業利益59,352千円（前年同期比31.4%減少）、経常利益59,287千円（前年同期比26.8%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益37,311千円（前年同期比33.2%減少）となりました。

なお、当社グループは、在庫管理システムの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を行っておりませんが、サービス別の業績は、以下のとおりであります。

## (クラウドサービス)

当サービスにおいては、新規取引先の増加などにより順調に推移し、当第1四半期連結累計期間における売上高は275,035千円（前年同期比13.7%増加）となりました。

## (開発・導入サービス)

当サービスにおいては、前期に大型案件の追加開発があった為、当第1四半期連結累計期間における売上高は80,154千円（前年同期比40.3%減少）となりました。

## (機器販売サービス)

当サービスにおいて、サプライ品及びラベルプリンターなどの販売は順調に推移し、当第1四半期連結累計期間における売上高は29,499千円（前年同期比28.7%増加）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて367千円減少し、1,279,812千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて10,893千円減少し、1,033,171千円となりました。この主な要因は、未払法人税等及び未払賞与を支払ったことにより現金及び預金が28,875千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて10,525千円増加し、246,641千円となりました。この主な要因は、主力製品であるロジガードZEROのバージョンアップによりソフトウェア仮勘定を計上したことによるものであります。

## (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて53,499千円減少し、183,870千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて50,997千円減少し、182,242千円となりました。この主な要因は、未払法人税等及び未払賞与を支払ったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて2,502千円減少し、1,628千円となりました。この要因は、借入金の返済により長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を除く）が2,502千円減少したことによるものであります。

## (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて53,132千円増加し、1,095,941

千円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金の増加および新株予約権の行使により資本金及び資本準備金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の連結業績予想に関しましては、2019年8月13日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	827,386	798,510
売掛金	167,008	161,582
商品	1,807	2,620
仕掛品	22,611	26,895
その他	26,735	43,983
貸倒引当金	△1,484	△421
流動資産合計	1,044,064	1,033,171
固定資産		
有形固定資産	22,156	23,807
無形固定資産	189,885	199,321
投資その他の資産		
繰延税金資産	8,184	8,184
その他	16,679	16,373
貸倒引当金	△791	△1,046
投資その他の資産合計	24,073	23,511
固定資産合計	236,115	246,641
資産合計	1,280,180	1,279,812
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	24,403	35,282
1年内返済予定の長期借入金	10,842	10,008
未払金	57,089	60,543
未払法人税等	63,637	23,224
賞与引当金	310	26,276
その他	76,957	26,907
流動負債合計	233,240	182,242
固定負債		
長期借入金	4,130	1,628
固定負債合計	4,130	1,628
負債合計	237,370	183,870

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,804	298,964
資本剰余金	283,306	291,466
利益剰余金	470,541	507,852
自己株式	△69	△69
株主資本合計	1,044,583	1,098,214
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,773	△2,273
その他の包括利益累計額合計	△1,773	△2,273
純資産合計	1,042,809	1,095,941
負債純資産合計	1,280,180	1,279,812

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	398,974	384,689
売上原価	196,563	198,484
売上総利益	202,410	186,204
販売費及び一般管理費	115,864	126,851
営業利益	86,545	59,352
営業外収益		
受取利息	17	15
その他	—	1
営業外収益合計	17	16
営業外費用		
支払利息	90	48
株式交付費	3,766	—
株式公開費用	1,500	—
その他	198	32
営業外費用合計	5,554	81
経常利益	81,007	59,287
税金等調整前四半期純利益	81,007	59,287
法人税等	25,135	21,975
四半期純利益	55,872	37,311
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,872	37,311



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	55,872	37,311
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△160	△499
その他の包括利益合計	△160	△499
四半期包括利益	55,712	36,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,712	36,812

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。